

<みよみよ はればれ まんなか>



美花果 便り

Vol.52

都筑の町のほぼまんなかで

～その 52～

我が家の次男一家は、マレーシアのジョホールバルという町に住んでいます。LINE で近況をいつも送りあっているのですが、先日盆踊りの様子が動画で送られてきました。赤い提灯がたくさんぶら下げられた櫓の上で、浴衣姿の女性たち(嫁を含む)が輪になって楽しそうに踊っている様子です。JICA が主催する 30 年以上の歴史あるイベントだそうです。

異国の地で、そういう場に出ると、日本人代表の気分になるそうです。お友達にも浴衣を着せてあげたいと言われて、昨年、ブックオフで仕入れた浴衣や帯をたくさん持っていきました。櫓の周り何重にも囲う踊りの輪、色々な肌の色の人が、浴衣や、はっぴ、甚兵衛を着て、炭坑節を踊っている様子はとても楽しそうです。もちろんイスラム教の人はヒシャブを被って浴衣を着ています。二日間にわたるイベントは、餅つき大会もあり、日本から出店する屋台もあります。

数年前から着物を着ることがマイブームになっている私としては、嫁の浴衣の着付けが気になって仕方ありません。来年は、私も浴衣を着て、マレーシアの盆踊りに参戦するぞ～！

松田

みよみよ看護

【訪問看護ステーション】

住所: 〒224-0033

横浜市都筑区茅ヶ崎東 4-9-18

電話: 045-949-6277

FAX: 045-949-6278

メール: e-matsuda@ni-care.jp

ホームページ: <http://www.ni-care.jp/>



土曜日に、新しく理学療法士が増えました。リハビリのご依頼お待ちしております。

「看」という文字は、手をかざしてよく見るという意味合いがこめられています。

中国の禅僧が我々の中に存在する宝を見極めよ、という意味で「看看 (みよみよ)」といっているところから名前をつけました。

皆様の心の中にある宝物を大切に、お家での生活を支えます。

【 お片付け 】

今年、父が他界し母は 87 歳ではじめての一人暮らしになりました。息子達が大学で家を出るまでは 6 人家族で楽しく賑やかに暮らしていたため、今はさぞ寂しいのではないかと思います。父は今年倒れるまでは 89 歳で一度も入院を経験せず、足は弱っていたものの自宅内では自立して生活していました。一緒に暮らしていた祖母も 101 歳で急に倒れて亡くなるまで、自分一人でトイレやお風呂も出来るくらい元気に自宅で暮らしてしていました。最初の 5 年間は明治生まれで 85 歳まで長生きをした曾祖母も一緒に生活されていたそうです。



三男が大きくなったタイミングで建て増しした築 55 年の 5LDK 一戸建て。夫婦二人になってからは 1 階だけで生活していたため、2 階は長く物置状態になっております。きれい好きな母なのでそれなりに整頓しディスプレイはしているものの、とにかく物が多いのです。2 階に上がるとそこは昭和レトロな空間が広がっております。木彫りの熊の置物から博多人形、こけし、あちこちの観光地の三角のタペストリーがたくさん飾ってあったり、CD ラジカセやゲーム、怪獣消しゴムやフィギアなど様々な物が書ききれないくらい。また、お宝物と言っていいのか？ 30 年以上前にお歳暮でもらったウイスキーが箱のままあったり、さらには曾祖母の明治？ 大正時代？ の漆器や家紋が入ったお重、煙草盆（キセルや灰落としなどセットになった物）なんて時代物まで、。。

戦争や疎開も経験し物を大事にする気持ちは分かるし、物を捨てる事は思い出も捨てるようで勇気が要る事ですが、現実的にこのままというわけにはいかず少しずつ整理していかなければいけません。まずはうちも含めて息子達それぞれが置いて行った物を何とかするという所から片付けをはじめていこうと思いますが、皆面倒くさがりで腰が重いタイプなので、どうなることやら、、（トホホ）

看護師 松岡 菜穂子

～風にふかれて～

毎日暑い日が続いていますね☀️この暑い日はいつまで続くのやら・・
真夏の太陽が容赦なく照り付ける中でも涼を感じさせてくれる風物詩🍃
風鈴の涼やかな音色 うちわであおぐ風 薬味たっぷり入れたそうめん
氷の浮かんた麦茶の冷たさ 朝顔の花の鮮やかな青
打ち上げ花火の音が遠くの方で聞こえたり、
夕暮れ時の虫の声やツクツボウシの鳴き声が
聞こえてくると夏の終わりの気配を感じる
日本ならではの音や風景、肌で感じる涼しさ



日々の暑さや疲れを自然や風物詩をイメージすることで少しでも和らぎますように(^_^)

✿コノハ✿